



だい かい た ふん か
第3回多文化サロン★レポート

America meets Japan

～ファームクッキング～

1月18日(土)に第3回多文化サロンとして、花巻市内小学校でALTとして勤務するアンソニー・バッシュさん(アメリカ出身)を講師にお招きし、じゃがいもと長ねぎのスープ、白菜とりんごのサラダ、パンプキンココナツプディングの3品の料理の作り方を教えて頂きました。参加者は15名でした。



講師のアンソニーさん



開会の様子

今回の講座では、講師の調理作業を見学する時間を設けたり、分担して行ったため、時間に余裕を持って作業をすることができました。

一品目はプディング作り。かぼちゃピューレと材料を混ぜ合わせてプディングのタネを作り、オーブンで焼きました。甘味で加えたのは「マスコバド糖」と呼ばれる黒砂糖で、サトウキビをまるごと絞り、煮詰めて自然乾燥させた粉末状のものです。自然な甘みのプディングに仕上がりました。



加えてフェアトレードも説明



みんなで作業中



ココナツをトッピング

二品目はスープ作りです。じゃがいもと長ねぎをやわらかくなるまで煮込み、ミキサーでピューレにし鍋に戻して味を整えれば完成です！三品目のサラダは白菜、りんご、アーモンドをカットしてドレッシングでまぜて出来上がり♪



大鍋で具材を煮込みます



ミキサーでピューレ作り
STAR WING No.278



サラダ作りで白菜をカット中



本日のメニュー



デザートのパディング



料理や日本での生活について紹介

完成した料理と一緒にハーブティーと、講師のアンソニーさん手作りのパンを頂きました。料理はどれもシンプルな味つけで素材の味を引き立たせていて、参加者からも好評でした。

食事の後は、アンソニーさんの今まで経験した日本とアメリカの生活について、家庭菜園のこと、料理の話、産直などで出荷している自身の手作りパンの話など多岐にわたるお話を伺うことができました。講師を務めて下さったアンソニーさんありがとうございました。



赤色の車が目印！



今回講師を務めて下さったアンソニーさんの手がけるパンやクッキーは花巻市東和町にある「産直あおぞら」にて販売しています。

その他、ワッフルを販売するキッチンカー「Tillerman's Bread」は、土沢アートクラフトフェアなどに店舗されているとのこと。お見かけの際にはぜひお立ち寄り頂ければと思います♪

日本語学習支援ボランティア養成講座の様子をご紹介します

1月26日(日)から定住外国人支援事業として、今年度の日本語学習支援ボランティア養成講座が全5回で始まり、花巻市内外から定員を上回る20名が参加しました。講師に盛岡大学の嶺岸玲子先生をお迎えし、初回講座では「サポーターの役割について」をテーマに講義を行って頂きました。

グループワークも行われ、サポーターが日本語学習者に教えることは何かを紙に書き出し、グループ分けしたものをそれぞれのチームに発表してもらいました。さらに、日本語学習者の気持ちを知ってもらうよう、知らない言語で学習することの模擬体験も取り入れた内容に、参加者は興味を持って受講している様子でした。

講座は2月中旬まで行われる予定です。受講者の皆さまにとって有意義な講座となればと思います。



今年、花巻市とベルンドルフ市は友好都市提携55周年を迎えます。今回は昨年末の国際フェアで発表された派遣生徒の報告内容から一部抜粋してベルンドルフ市やオーストリアの様子をご紹介します。

ベルンドルフ市…オーストリア共和国ニダーエスタライヒ州。首都ウィーンから車で約1時間。

★食文化について

オーストリアの料理はドイツ料理に似ていますが、東ヨーロッパの食文化の影響なども受け、それぞれの国から伝わった料理がリメイクされたものが多いと言われています。私のホストファミリーは3食の食事の他に午前10時と午後4時にティータイムの時間を取っていました。ティータイムは19世紀頃にイギリスで発祥し、ヨーロッパ全土に広がったもので、紅茶などの飲み物と一緒にケーキなどを食べるものです。そのため、時間が近い朝食と夕食は軽めに食べていました。昼食は14時頃と遅めでしたがスープなどの煮込み料理を食べることが多く、3食の中で一番しっかり食べていました。ティータイムの最大の魅力は、家族と1日最大5回のコミュニケーションの時間が持てることです。私も家でもティータイムのような時間を作って、家族と交流していきたいです。



朝食の様子

★音楽文化について

ベートーヴェン博物館では彼の生活や作曲の方法などを見学してきました。特に、難聴であった彼は現在でも使われている補聴器のようなものを使い、高音まで聞き取れるような工夫をしていたというところに驚きました。それでもすべての高音を聞き取ることができなかったベートーヴェンは、自身の絶対音感や昔の経験などにより作曲に勤んでいたというところに、彼の音楽への愛を感じることができました。



カールス教会

ホストファミリーに連れて行ってもらったカールス教会でのコンサートでは、モーツァルトのレクイエムを聞くことができました。綺麗で力強い歌声と最高の楽器の音色を聞くことができ、とても素晴らしかったです。オーストリアでは子供の時から楽しんで音楽を学び、触れることができます。たくさんのコンサートが開かれ街に音楽があふれ、誰もが気軽に音楽を楽しむことができる文化が根付いているのがとても印象的でした。

★学校について



教室の様子

ギムナジウム校には10歳から18歳の生徒(日本の小学4年生から高校3年生にあたる)が通っていました。科目は国語(ドイツ語)、英語、数学など私たちが勉強している教科の他に、哲学や、必修科目で宗教、語学ではスペイン語、フランス語、ラテン語がありました。制服がなく私服で登校し、メイク、ネイル、ピアス、髪の色などは生徒の自由でした。生徒自身が勉強に集中できるならどんな格好であって良いという、全て自己責任という考えからだそうです。授業中、ギムナジウム生は挙手をして意見を言ったり、先生に質問したりと自らが進んで勉強に取り組み、一人ひとりが授業に参加しようという意欲をとて感じました。ギムナジウム校で学んだ「授業への参加意欲」をお手本にして、これからの学校生活をより良いものにしていきたいと思ひます。

来月号では後編をお届けします。

当協会では、一部の本の貸し出しをおこなっております！是非、交流会館まで足をお運びください。
※尚、雑誌はバックナンバーのみ貸し出しいたします。（2週間）

＜定期購読雑誌 最新号の内容＞

• Hiragana Times –ひらがなタイムズ–

「形から学ぶ漢字」

• News Week 日本語版

「私たちが日本の〇〇を好きな理由」

• ENGLISH JOURNAL (CDは館内でのみ貸出可能)

「発音」



※「この本を入れて欲しい」「こんなテキストがあったらいいな」
という皆さんの声をお聞かせください!



としよ
図書コーナーのご紹介

花巻市交流会館には、当協会が管理を行っている図書コーナーがあり、図書だよりで紹介している雑誌等の他、絵本や一般書籍の貸し出しを行っております。コーナー内での閲覧も、もちろん可能です。英字新聞は「Asahi Weekly」を設置しています。「Asahi Weekly」は日本語の補助説明や、単語の日本語訳が書かれているため学習教材にもおすすめです。利用時間は交流会館の開館時間に準じ、午前9時から午後9時までとなります。



問い合わせ先

〒025-0004 岩手県花巻市葛第3地割183番地1
TEL : 0198-26-5833 FAX : 0198-26-5855
E-MAIL : kokusai_staff_c@ext.city.hanamaki.iwate.jp
HP : http://hanakokusai.wordpress.com

開館時間 : 8:30~17:30 休館日 : 土日祝祭日、年末年始

